

Our Future

夢と希望が輝く中学校へ

浜岡中学校の新校舎図鑑

vol.14 「正門から昇降口へのアプローチ」

今回は、正門から昇降口へのアプローチを紹介します。生徒は徒歩、自転車、バス、保護者による車での送迎で通学しており、事故防止のため生徒と車両の動線を完全に分離しました。北側の正門から登校する生徒は浜中アベニューを通り昇降口に、自転車通学の生徒は北側自転車置き場に駐輪して昇降口に、バスや自動車で送迎される生徒、西門から登校する生徒は浜中ストリートからアベニューに右折して昇降口に向かいます。自転車置き場やバスの降車場からは雨に濡れないように工夫しています。職員室からは登下校の様子がよく見え、先生とのコミュニケーションもとりやすくなっています。次回は、昇降口を紹介します。



照 会 教育総務課 ☎0537-298733

放射線とは、放射性物質から放出される粒子や電磁波のことをいいます。放射線は目に見えず、臭いもなく、痛い、熱いなどの五感で感じることもできないため、不安を感じる人もいます。しかし、私たちは、日常的に自然界のさまざまな所からこの放射線を受けています。

放射線には、宇宙から降り注ぐものや大地から放たれるもの、空気や食べ物に含まれているものがあります。これを「自然放射線」といい、日本では1人当たり年間約2.1ミリシーベルトの自然放射線を受けています。

また、装置を使って人工的に発生させるものや原子力発電所で作り出した放射性物質から発生する「人工放射線」も存在します。これらの「自然放射線」と「人工放射線」は、放射線の種類や性質、人体へ

Atomic

暮らしと原子力

放射線の基礎知識①

身のまわりの放射線

の影響は変わりません。

放射線は、物質を通り抜ける力や変質させる力をもっており、医療、工業、農業などさまざまな分野で利用されています。

浜岡原子力発電所周辺の環境放射線は、「浜岡原子力発電所の安全確保等に関する協定」に基づいて常時監視されています。その測定結果は、静岡県や中部電力(株)のホームページで確認することができます。

身の回りの放射線
年間約 2.1 ミリ
シーベルト



▲宇宙から



▲大地や空気から



▲食物から